

令和8年度 桜学園つくば市立九重小学校グランドデザイン

【茨城県教育の目標】
ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し 協力しあう心を育てる

【校訓】
まじめになろう 人につくそう 正しく強くなろう

【つくば市の目指す学園・学校像】
みんなが幸せを実感できる学園・学校
～自己実現できる学校・みんなで支え
合い、みんなが生き生きした学校～
○教えから学びへ
○管理から自己決定へ
○認知能力偏重から
非認知能力の再認識へ

【学園教育目標】
夢をもち、自立して社会に貢献できる
児童・生徒の育成

【学校教育目標】
夢や目標に向かって 自ら学び、力を合わせ、前向きに取り組む児童の育成

【目指す学校像】
・子供にとって幸せを実感できる学校
・教師にとって 能力が発揮できる学校
・家庭や地域に信頼され 開かれた学校

【目指す児童像】
「このえ」
こころやさしく友達に
こころをこめて何事も
のびのびチャレンジ
えがおであいさつ

【目指す教師像】
・児童一人一人を大切にする教師
・能力を十分に発揮する教師
・チームで取り組む教師

【学校経営方針】
「正解が用意されていない困難な課題にも他者と共に果敢に挑める人財を育てる学校」
○「けじめ・あいさつ・思いやり」を胸に、笑顔で充実した生活を過ごせる学校
○教職員一人一人が個々の能力やよさを十分に発揮し、チームとして取り組める学校
○保護者・地域と連携、協働して子どもを育てることができる学校

【組織目標】
「他者と積極的に関わりながら、自らの考えを深めることができる探究的な学びの推進」
○学習意欲を高める課題設定の工夫と「試行錯誤・アウトプット・振り返り」の徹底
○児童が対話的・協働的な学びを実感できるための授業改善
○一人一人が自己選択・自己決定できる個別最適な学びの場の設定とICTの効果的な活用

深め合う

- 主体的に学ぶための授業改善
・単元構成を意識した課題設定
・試行錯誤する場の意図的な設定
- 考えを深めるための授業改善
・アウトプットの場の意図的な設定
・次の課題を見出せる振り返り
- 個別最適な学び
・ICTの効果的な活用
・個の定着に合わせた学習の提供

考えを伝え深め合う授業実践

【達成目標】「授業が楽しい」各学年88%、「本物の学び」85%「個別最適な学び」各項目各学年88%

認め合う

- 自己肯定感・自己有用感の向上
・異学年交流やブロック活動の充実
・係・委員会等、自発的活動の充実
- 他者との対話による相互理解
・「九重トーク」の充実
・「いじめ防止フォーラム」実施
- 道徳教育の充実
・「考え・議論する道徳」の実践

幸せに向かうための学びの実践

【達成目標】「非認知能力の育成」各項目各学年85%
「自己決定できる学校環境」各項目各学年90%

鍛え合う

- 命を守る自己管理能力の育成
・防災訓練の充実
・情報モラル、薬物乱用防止教育の充実
・「SOSの出し方に関する教育」の確実な実践
- 健やかな身体づくり
・外遊びの奨励
・食に関する教育の充実
・「ゆったりマラソン」の実施

生命を尊重する姿勢の育成

【達成目標】「自分の健康・安全を考えて生活」85%

信頼される学校

- 安全・安心学校作り
・教職員の危機管理の徹底と共通理解・チーム対応
・児童一人ひとりの心の居場所となる学校・学級づくり
・地域や学園と連携した学園・学校防災
- 教職員の資質向上
・働き方改革推進のための業務の工夫
(教材研究と子どもと向き合う時間の確保)
・コンプライアンスの確保とメンタルヘルス
(教職員との面談の設定)
・学園研修や校内研修の充実

信頼される学校づくり【達成目標】学校評価肯定意見85%

地域と共にある学校

- 積極的な情報発信
・HPなどを活用した情報発信、学校評価の有効活用
- 桜学園コミュニティ・スクール
・学園・学校の目標の共有化
・地域人材の活用
(おやじの会、読み聞かせ、保護者ボランティア等)
- 関係機関との連携
・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用
- 外部人材の活用
・つくば科学出前レクチャー、市立図書館、租税教室等

地域と連携・開かれた学校づくり【達成目標】学校評価肯定意見85%

【桜学園研修テーマ】

「自ら学ぶ意欲をもち、考えを深めあう児童生徒の育成 ～課題設定と単元構成の工夫を通して～」